平成１８年2月２４日

各　　位

会 社 名　田淵電機株式会社
代表者名　取締役社長 貝方士 利浩
（コード番号:6624 大証第２部）
問合せ先　理事役員
西口 伸二
（TEL 06-6475-5111）

田淵電機株式会社「中期経営計画」について

１．計画策定の背景

田淵電機は２００５年７月に大幅な組織変更を行い、新経営陣のもとで２００８年３月までの３ヵ年中期経営計画を実施しております。これは費用構造改革による筋肉質な経営をベースとし、当社の「企業目的＝ミッション」の追求により黒字経営への転換を図り持続可能な増収増益路線を実現していくためのものであります。計画初年度における費用構造改革の確実な進展に伴い、当初計画を一部見直すにあたって、中期経営計画の概要を皆様にお知らせ致します。今後も透明性の高い経営を目指してまいる所存です。

２．基本経営方針

ミッション経営で黒字経営に転換する　～　持続可能な増収増益路線へ　～

３．企業目的

田淵電機グループの使命は、未来に誇るコアテクノロジーを活かし、地球環境にやさしい「エネルギー先進企業」として広く社会に貢献することであります。

４．中期目標

＜定量目標＞　（単位：百万円）

	2005年度 見 込	2006年度 計 画	2007年度 計 画
売上高	22,500	26,000	28,000
営業利益	▲ 300	700	1,000
経常利益	▲ 400	500	800
当期利益	▲ 1,500	400	500
有利子負債	5,000	3,800	3,400

＜定性目標＞

（１）目指す市場でトップシェアの獲得
（２）高効率・高“コスト力”経営
（３）差別化商品の開発

５．具体的施策

（１）事業領域と戦略

①インバーター事業　　先行する分野の強化

・太陽光発電インバーター機器

業界最高効率・高信頼性環境型インバータ機器を提供することにより世界市場シェアトップを目指す

②電源ユニット事業　　拡大する市場への対応

・大型薄型テレビ用電源

省電力設計において最先端を行く商品でマーケットシェアアップを図る

・アミューズメント機器用電源

モバイル・家庭用ゲーム機器向け商品の拡充と遊技機市場向け商品への本格参入

③変成器事業　　原価低減と省エネ設計の推進

・電子レンジ用高圧トランス

アルミ化推進による差別化商品の提供

・エアコン用リアクタ

新素材の開発による低損失、静音製品の提供

・高周波トランス

電源のキーパーツとして外販拡大

小型高周波トランスの拡販

・コイル類等

新規巻線技術による商品開発

トロイダルトランスの開発

④３事業別売上計画　　（単位：百万円）

	2005年度 見　込	2006年度 計　画	2007年度 計　画
インバータ事業	3,520	4,500	5,000
電源ユニット事業	10,430	12,500	13,500
変成器事業	8,550	9,000	9,500
合　計	22,500	26,000	28,000

（２）費用構造改革　　年間総経費１０億円削減

２００５年度に実施した事項

・電源事業集約による生産性向上

⇒　タイ田淵から香港田淵への同事業移管・集約とそれに伴うタイ田淵従業員の約３０％（約５００名）の削減

・不採算事業からの撤退

・一般経費の削減　　⇒　ロジスティクス費用等

・遊休資産売却による有利子負債大幅削減

（３）内部統制システムの拡充

コンプライアンス重視の経営を行い、内部監査体制を強化し経営のリスクをミニマイズしていくとともに、本中期経営計画の進捗状況を逐次フォローし目標達成に向け収益状況を管理して参ります。

（４）ＩＲの強化

投資家のみなさまへ、当社の経営状況を適時に開示していくと同時に戦略的な広報活動を実施していくためにＩＲ担当を設け、積極的に情報提供を行って参ります。

以　　上